

◎第7回理事会 (42.12.15) 出席者：富樫会長，最上副会長，羽田専務理事，伊藤，石橋，川崎，堀，篠原，高石，広瀬，福山，吉田，渡辺の各理事，小池，橋の各監事。議事録署名理事の決定：富樫会長，羽田専務理事，広瀬理事。A. 報告事項：つぎの各項につき羽田専務理事より報告があり了承された； 1) 会計報告。2) 刊行物頒布報告。3) 各種委員会・その他報告。協議事項：1) 第54回通常総会について。2) その他。3) 委員の委嘱

① 原子力土木技術委員会

委員 安岡九寿男 建設省関東地建

② 下水道雨水流出量に関する研究小委員会

委員 伊藤 俊美 建設省都市局

③ コンクリートおよび鉄筋コンクリート鉄道構造物設計標準に関する研究委員会

委員長 園分 正胤 東京大学

委員 沼田 政矩 国土館大学

水野 高明 九州大学

横道 英雄 北海道大学

猪股 俊司 (株)日本構造橋梁研究所

河野 通之 日本交通技術(株)

伊東 茂富 建設省土木研究所

岡田 清 京都大学

後藤 幸正 東北大学

村田 二郎 東京都立大学

上前 行孝 首都高速度道路公団

神山 一 早稲田大学

小寺 重郎 八千代エンジニアリング(株)

松本 嘉司 東京大学

玉置 脩 首都高速度道路公団

岡村 甫 東京大学

武藤 肇彦 日本道路公団

池田 康平 日本鉄道建設公団

野口 功 同

杉田 秀夫 同

山本 強 同

西亀 達夫 国鉄構造物設計事務所

在塚 宏 国鉄下関工事局

樋口 芳朗 国鉄鉄道技術研究所

池田 俊雄 国鉄構造物設計事務所

三浦 誠夫 国鉄施設局

横山 浩雄 国鉄建設局

大山 忠 国鉄施設局

岡部 達郎 国鉄建設局

近藤 時夫 国鉄構造物設計事務所

田村 浩一 同

井上 平 国鉄東京第二工事局

菅原 操 国鉄東京第三工事局

田島 二郎 国鉄構造物設計事務所

建部 恒彦 国鉄施設局

岡田 宏 同

本間 伝 同

井上 六郎 同

○尾坂 芳夫 国鉄構造物設計事務所

島居 敏則 国鉄東京工事局

石崎 昭義 国鉄東京第二工事局

永尾 勝義 国鉄建設局

委員 本田 修一 国鉄構造物設計事務所
谷内田昌熙 国鉄山陽新幹線建設部
宮口 伊秀 国鉄施設局
○宮田 尚彦 国鉄構造物設計事務所
小池 晋 同
割沢 善雄 国鉄鉄道技術研究所
委員 武田 弘 国鉄構造物設計事務所
松本 美信 同
(○印は委員兼幹事)

◎各種委員会

(1) トンネル工学委員会 調査小委員会 (42.11.17) 出席者：丸安委員長，ほか7名。議事：1) 前回議事録の確認。2) 本委員会的主旨について。3) トンネル標準方書に関する意見要望事項について討議。

(2) 大学土木教育委員会打合会 (42.11.17) 出席者：高橋幹事長，ほか4名。議事：1) 大学土木教育に関するアンケートの集計について。2) 次回委員会開催について。

(3) 第113回耐震工学委員会 (42.11.17) 出席者：那須委員長，岡本副委員長，ほか6名。議事：1) 前回議事録の確認。2) 第9回地震工学研究発表会について。3) 軟弱地盤耐震設計研究委員会について。4) IAEE について。5) EE 懇談会について。6) 昭和42年度土木賞推せんについて。7) 委員の交代。

(4) 本州四国連絡橋打合会 (42.11.18) 出席者：関係者3名。議事：省略。

(5) 岩盤力学委員会 第2分科会 (第11回) (42.11.20) 出席者：高橋主査，ほか6名。議事：1) 運営委員会報告。2) 岩盤サンプル収集について。3) 講演“紅葉山線新登川ずい道 蛇紋岩地盤の試験結果について” 日本鉄道建設公団 藤森氏。

(6) 第15回原子力土木技術委員会 (42.11.21) 出席者：左合委員長，ほか11名。議事：1) 前回議事録の確認。2) 「原子力と土木技術」の原稿とりまとめ。3) 第5回理工学における同位元素研究発表会について。4) 土木図書館運営委員会からの依頼事項について。5) 昭和42年度土木賞推せんについて。

(7) 土木計画学研究委員会 (42.11.22) 出席者：鈴木委員長，米谷副委員長，八十島幹事長，ほか14名。議事：1) 第2回土木計画学シンポジウムの反省。2) 第3回土木計画学シンポジウムの諸件討議。3) 土木計画学講習会について討議。

(8) トンネル工学委員会 設計小委員会 (42.11.22) 出席者：伊吹山委員長，ほか12名。議事：1) 副委員長，委員および幹事の確認。2) 運営委員会の状況説明。3) アンケートについての主な討議事項。4) 今後の本委員会のすすめ方につ

て。

(9) 空港舗装研究委員会 土木・土質両学会懇談会 (42.11.22) 出席者：関係者11名。議事：1) 空港土質土工研究委員会の組織と活動状況について。2) 空港舗装研究委員会の組織と活動状況について。3) 両学会相互の研究課題および境界領域の課題に関する質疑応答。

(10) 第12回橋梁構造委員会準備会 (42.11.22) 出席者：平井委員長，ほか12名。議事：1) 議事録の確認。2) 構造工学総合研究所について。3) 委員会委員の追加。4) その他。

(11) 第1回下水道雨水流出量に関する研究小委員会 (42.11.25) 出席者：合田委員長，ほか7名。議事：1) 委員長挨拶。2) 委託概要の説明。3) 今後の運営方針。4) その他。

(12) 本州四国連絡橋打合会 (42.11.25) 出席者：関係者3名。議事：省略。

(13) 土木図書館運営委員会 (42.11.29) 出席者：森委員長，綾幹事長，ほか6名。議事：1) 図書館利用状況報告。2) 図書館利用者に対するアンケート報告。3) 複写機利用状況について。4) 発注図書について。5) フィルムライブラリーについて。

(14) トンネル工学委員会 シールド工法小委員会第3分科会 (シールド) (42.11.30) 出席者：鳥羽主査，ほか4名。議事：トンネル標準方書改訂にあたり第3編(シールド)の項目，概略内容作成。

(15) トンネル工学委員会 シールド工法小委員会第4分科会 (施工および施工設備) (42.11.30) 出席者：西嶋(代)主査，ほか2名。議事：トンネル標準方書改訂にあたり，第4編(施工および施工設備)の項目，概略内容作成。

(16) 原子炉用PSコンクリート容器に関する研究小委員会 (42.11.30) 出席者：関，猪股の両主査，ほか18名。議事：1) 発電用原子炉構造物へのプレストレストコンクリートの適用に関する資料調査。2) 欧州原子力発電所見学記。3) その他。

(17) 会誌編集小委員会 (42.12.1) 出席者：増岡委員長，ほか9名。議事：1) 受付原稿審査報告。2) 会誌53巻3号編集について。3) 郷土の土木について。4) その他。

(18) 空港舗装研究委員会打合会 (42.12.1) 出席者：関係者2名。議事：中間報告書の校正作業を行なった。

(19) トンネル工学委員会 シールド工法小委員会第2分科会 (42.12.1) 出席者：山本主査，ほか2名。議事：トンネ

ル標準示方書改訂にあたり、第2編(覆工とセグメント)の項目、概略内容作成。

(20) トンネル工学委員会 シールド工法小委員会第1分科会(総論)(42.12.1) 出席者:遠藤主査,ほか8名。議事:トンネル標準示方書改訂にあたり、第1編(総論)の項目、概略内容作成。

(21) 本州四国連絡橋打合せ(42.12.2) 出席者:関係者2名。議事:省略。

(22) トンネル工学委員会 施工小委員会(42.12.6) 出席者:粕谷委員長,ほか6名。議事:ずい道余掘,余巻の調査を行なうにあたり調査表作成。

(23) 鋼鉄道橋示方書委員会幹事会(42.12.6) 出席者:関係者7名。議事:1) 座屈に関する諸条項の検討。2) 橋梁の衝撃について。

(24) P C 工法小委員会レオンハルト & レオバ工法(42.12.6) 出席者:国分委員長,河野主査,ほか20名。議事:1) 前回議事録の確認。2) レオバ・レオンハルト工法設計施工指針(案)の逐条審議。

(25) 会誌編集委員会書評小委員会(42.12.6) 出席者:新谷委員長,ほか5名。議事:1) 受付図書審査。2) 会誌53巻2号への掲載書評決定。3) ブックガイドの件討議。4) その他。

(26) 空港舗装研究委員会 コンクリート舗装部会設計に関する分科会(42.12.7) 出席者:伊東主査,ほか10名。議事:1) 空港における無筋コンクリート舗装

の設計方法について。2) 鉄筋コンクリート舗装の設計方法に関する調査研究について。3) その他。

(27) 論文集編集委員会第1部会(42.12.6) 出席者:西村委員長,ほか9名。議事:1) 査読報告。2) 新規受付原稿査読委員の決定。3) 土木賞について。4) その他。

(28) 論文集編集委員会第2部会(42.12.7) 出席者:嶋部会長,ほか9名。議事:1) 査読報告。2) 新規受付原稿査読委員の決定。3) 土木賞について。4) その他。

(29) 論文集編集委員会第3部会(42.12.7) 出席者:山口部会長,ほか4名。議事:1) 査読報告。2) 新規受付原稿査読委員の決定。3) 土木賞について。4) その他。

(30) 論文集編集委員会第4部会(42.12.7) 出席者:神山部会長,ほか11名。議事:1) 査読報告。2) 新規受付原稿査読委員の決定。3) 土木賞について。4) その他。

(31) 軟弱地盤耐震設計研究委員会 第5回幹事会(42.12.8) 出席者:関係者17名。議事:1) 前回委員会議事録の確認。2) 設計震度。3) 偏心傾斜荷重を受ける地盤の支持力。

(32) 文献調査委員会(42.12.8) 出席者:松本委員長,ほか11名。議事:1) 会誌53巻2号掲載抄録の決定。2) 解説記事について。3) 文献目録担当雑誌につ

いて。

◎その他

(1) 混相流シンポジウム(42.11.18) 場所:土木図書館講堂 共催:土木学会ほか関係学協会 参加者:約75名 講演数:10題

(2) 秋のエキスカッション(42.11.21~22) 場所:東名高速道路 参加者:49名

(3) 第2回土木計画学シンポジウム(42.11.21~22) 場所:銀座ガスホール 参加者:約250名

(4) 第2回岩の力学国内シンポジウム(1967)(42.11.28~29) 場所:大和証券ホール 講演数:自由論文17題,課題論文13題,特別講演1題 参加者:314名(内招待者40名) 共催:土木学会ほか3学会

◎懇親会(11月28日):参加者30名 会場:土木図書館5号室

(5) 第14回橋梁構造工学研究発表会(薄板および立体構造に関する研究発表会)(42.12.2) 場所:土木図書館講堂 講演数:16題 参加者:約100名 共催:土木学会,ほか

編集後記

2月は年末から新年にかけての反動で、商売などではよく景気の悪い月であるといわれていますが、学会誌では、そのような不景気風を吹きとばすような「原子力と土木技術」に関する特集号をお届けすることにしました。

人類史上始めて原子の火がともされたのは1942年12月のことだそうですので、すでに四半世紀の年月が経過しております。その間原子力の平和利用、とくに原子力発電における進歩は著しく、欧米とくにアメリカでは、近年発電コストがめざましく低下したため、1967年9月現在で、合計10580000kWの原子力発電所が建設中であるように聞いております。年頭の新聞、雑誌などでも、日本における原子力発電所建設計画を紹介して、わが国にも原子力発電ブームが到来しつつあることを報じておりましたので、会員の皆さんの中にも原子力発電やそれに関連した諸問題、とくに土木技術がその中で果している役割などに強い関心をもっておられるかたがたも多いと思われます。

この特集は土木学会の原子力土木技術委員会によって

編集されたもので、原子力発電所、原子力将来計画、原子力発電に関連した諸問題および土木工学におけるアイソトープの利用など多方面にわたる分野について、解説的にわかり易く記述しているので、会員の皆さんにも十分満足していただけるものと信じております。

吹付コンクリートによるトンネルの1次覆工法は、わが国では青函トンネルに応用して成功した新しい工法で今後とも一般に広く活用されてゆくことになると期待されます。また軟弱地盤中のシールド工事では、とくに気圧のかけ方、前面のおさえ方などが問題であると聞いておりますが、それらに対する貴重な経験と思われるので、前者の報文とともに、会員の皆さんのご精読をお願い致します。

今年度の政府予算をみますと、土木の分野に縁の深い公共事業費関係の予算がかなり圧縮されておりますが、われわれとしては機会あるごとに公共事業の必要性をPRして、その充実をはかってゆくことが必要ではないかと考えられます。

【富永・記】